

この度はRF-901SMをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この製品は最新の2.4GHz SS方式を採用しており、従来のクリスタル方式のようなバンドの空きを探す必要なく、複数台数での同時使用が可能です。弊社より発売の以下の送信機に対応します。製品をご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。お手持ちの送信機の取扱説明書もあわせてご確認ください。製品改良の為、予告無く仕様を変更する場合があります。

対応送信機 EX-I マーズ / EX-I マーズR / EX-10 ヘリオス / EX-I UR / エスプリⅢ ユニバース

取り扱い上の注意 安全にお使いいただくために、特に注意する事柄です。

警告! この表示は、[死亡又は重傷を負う可能性が想定され、高い頻度で物損事故が発生する]内容を示しています。

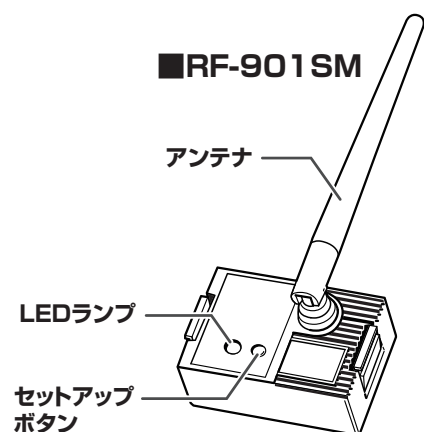
- この製品は京商株式会社 Mini-Z 2.4GHzを対象に設計・製造されております。※他用途へのご使用はおやめください。
- 雷の鳴っている所では走行させないでください。※送信機のアンテナに落雷の危険があります。
- 雨天や水たまりのある所では走行させないでください。※機器に水が入り暴走する事があります。
- 疲労・飲酒・服薬により集中力に支障をきたすような時には使用しない。※判断ミスにより思わぬ事故を起こします。
- 製品には角張った部分やとがった部分がありますので、十分注意してください。小さなお子様のいる場所での使用、保管は避けてください。※誤飲による中毒、やけど、けがの危険性があります。
- 電池は送信機の説明書で指定のものをご利用下さい。
- 必ず、送信機→車体の順にスイッチを入れて下さい。スイッチを切るときには、必ず車体→送信機の順で行って下さい。
- 必ず当社純正品を使用してください。※当社純正品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては当社では責任を負いません。
- 送信モジュールは、法令により分解が禁止されており、罰則の対象となります。またすべての製品の分解・改造は、ショートその他の事故の原因となります。また、サービス部での修理の受付をお断りする場合があります。
- 航空機内・病院内、火災報知器などの自動制御機器および医療電気機器の近くなどでは本製品は使用しないでください。誤作動による重大事故が発生する場合があります。また、法令上他の無線機器、電子機器に影響を与える場合には、直ちに使用を中止しなければなりません。

注意! この表示は、[傷害を負う可能性又は物損事故が発生する事が想定される]内容を示しています。

- 故障や破損、変形の原因となるため、高温、多湿の場所への保管はお避け下さい。また、水滴などが飛散しないようご注意ください。
- この製品は、この説明書および使用する送信機の説明書に基づいた使用方法において所定の性能を発揮するように設計されています。よくわからない場合には、使用法をご存知の方や、販売店様のアドバイスを受けてご使用ください。
- 万一の事故を考えて、安全を確認してから責任を持ってお楽しみ下さい。

ラジコン模型の性質上、お客様が当製品を使用された結果につきまして、弊社では責任を負いかねる事があります。

各部の名称

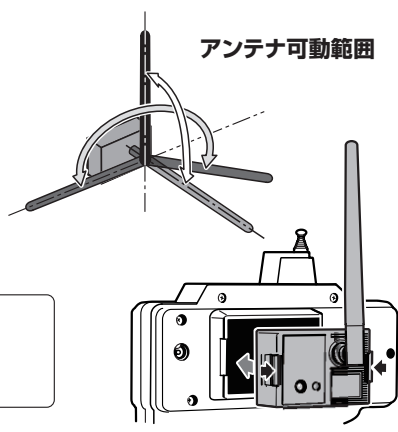


モジュールの取り付け

モジュールの取り外し、取り付け作業は送信機の電源スイッチをOFFにした状態で行ってください。

1. 送信機のモジュールピンに無理な力を掛けないように注意し、RF-901SMモジュールを挿入します。
2. 走行時、アンテナが地面に対して可能な限り垂直になるように調節してください。

注意! 走行中はアンテナに触れないでください。電波出力が極端に弱くなります。モジュールのアンテナ稼働範囲には限界があります。



送信機の設定について

注意! 2.4GHzシステムは電波の伝送方式が従来のAM / AD方式とは大きく異なります。このため、送信機の各設定値を車体に応じて大幅に変更する必要があります。

設定変更例

右の設定値は参考例です。実際の各数値は、お手持ちの車両に合わせてセットアップしてください。

ADバンド / 501AD	2.4GHz / 901SM
SUB:TRIM ST R 20	SUB:TRIM ST R 2
ST BALANCE L 88	ST BALANCE L 83
R 90	R 86
ST TRAVEL 100-100%	ST TRAVEL 100-60%
TH:HIPOINT 80	TH:HIPOINT 60
TH:BRAKE 95	TH:BRAKE 50

ペアリング

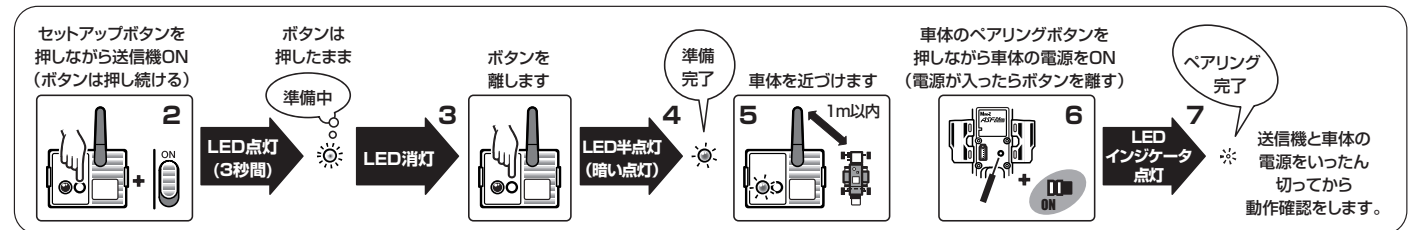
初めて受信機を作動させる際、モジュールのID番号を受信機に記憶させる「ペアリング」作業が必要になります。使用されるモジュールを変更する際にもペアリングを行います。一台のモジュール(送信機)で複数の受信機(車体)をさせる際には、ペアリングを各々の受信機に最初の1回だけ行います。

1. 送信機にRF-901SMモジュールを取り付け、アンテナを立てます。
2. モジュールのセットボタンを押したまま、送信機の電源を入れます。このときモジュールのLEDランプが点灯します。
3. 約3秒後、LEDランプが消灯します。消灯を確認したらセットボタンを離してください。
4. LEDランプが先程より暗く点灯(半点灯)したら、送信機の準備は完了です。
5. 車体を送信機の側(1m以内)に近づけます。(詳しい手順は車体の取扱説明書をご参照ください。)

6. 車体のペアリングボタンを押しながら電源をONにします。
7. ペアリングボタンを離して、LEDインジケータが点灯したらペアリング完了です。送信機と受信機の電源を切って下さい。
8. 続けて、動作の確認をします。送信機の電源をONにしてLEDの点灯を確認します。(通常モードでの動作になります。)
9. 受信機の電源をONにして、半点灯から間もなく点灯に変わったらペアリングは成功しています。

注意! 近くで他の方がペアリングを行っていたり、無線LANや電子レンジの影響でペアリングがうまくいかない場合はその場を離れるか、タイミングを変えて再度ペアリングを行ってください。

注意! ペアリング完了後は、従来通り送信機→受信機の順に電源を入れてご使用ください。



キャリアセンスと使用上の注意

警告! 適切にキャリアセンスが行えるよう、送信機の電源を入れる際はできる限り走行場所に近い位置でスイッチをONにしてください。

RF-901SMモジュールは、電源投入時に未使用の周波数を検出する「キャリアセンス」を行い、空いている周波数を送信機と車体内蔵の受信機に自動的に割り当てます。

● 修理について

故障修理を依頼される場合は、その故障状況を出来るだけ詳しくレポートして下さい。修理箇所のポイントを確認に知ること、修理時間が短くなります。

故障かなと思ったら

- もう一度、この説明書をごらんになってお調べ下さい。
- それでも解らない場合は当社サービス部へお問い合わせ下さい。サービス部にご相談の際は故障の状況を下記の内容を参考にできるだけくわしくお知らせ下さい。
- お使いの(送信機・受信機・サーボ・エレクトリックスピードコントローラー・モーター・走行用バッテリー・車)の名前
- 故障してしまった時の使用状況と故障の内容、症状
- お客様の住所、氏名、連絡先電話番号
- 修理を依頼される時は、上記の内容をできるだけ詳しく書いたメモを必ず一緒にお送り下さい。

● テクニカルスペック

- RF-901SMモジュール
- 送信周波数:2.4GHz
- 変調方式:直接拡散方式(DS-SS)
- 出力:約1mW
- ハイスピードレスポンス対応
- (ULTRA、ADVANCED、SUPER、NORMAL)
- 動作可能範囲:半径約40m
- アンテナ:単一型
- 消費電力:約60mAh

近藤科学株式会社 サービス部

お問い合わせは Phone:03-3807-7648
 受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日を除く)
 9:00～12:00、13:00～17:00
 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-17-7
 Web site : www.kopropro.co.jp